

仲間

nakama

主な内容

- みんなで取り組む課題.....2
- 要求アンケートのお願い.....3
- 京都支部定期大会の報告.....4
- 定期大会へのメッセージ.....5
- 事業団・介護ヘルパー運動交流集会 6・7
- 府本部女性部「定期総会」.....8
- ハローワーク前アンケート活動.....9
- 京都の催事案内、.....10
- 行楽・上賀茂神社から下鴨神社へ.....11
- 編集後記、まちがいさがしこたえ.....12

発行所

全日本建設交運一般労働組合(建交労)

京都 事業団・高齢者部会

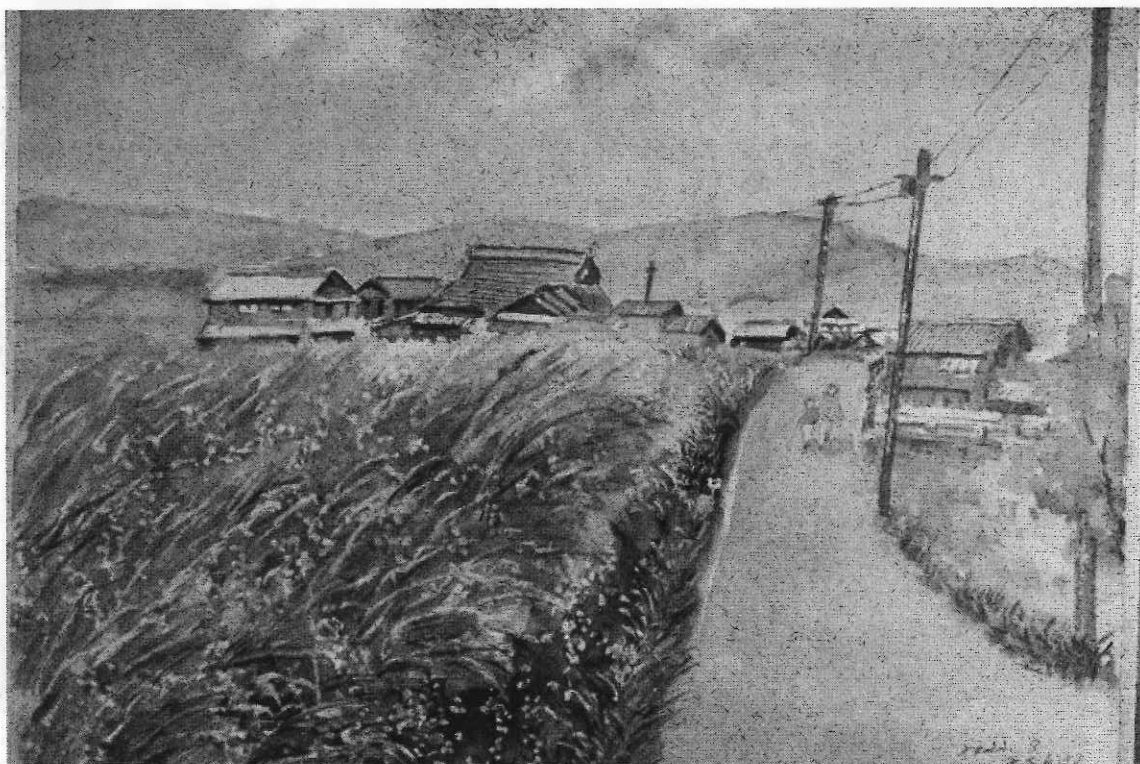
〒601-8103 京都市南区上鳥羽仏現寺町43番地

Tel 075-691-1007 Fax 671-1641

Eメール kenkourou@titan.ocn.ne.jp

発行日 毎月15日 一部30円

No.320 (2022年) 11月号



亀岡市 穴太寺の近くの秋

上林常哲

みんなできり組む課題

第11回支部執行委員会は10月12日に行い、13人が参加し、以下のとおり報告・討議しました。

1. 職場のこと、仲間のこと

○宇治分会Ⅱ駐輪場公募へ申請書提出（9月14日）、宇治市へのプレゼン実施（10月9日）。審査待ち。

2. 行事報告・情勢報告

①建交労全国事業団・高齢者部会「第22回総会」をオンラインで開催。9月15日。

○部会の方針を確認の後、各地方の高齢者事業団の状況を報告しあった。

②ソーシャルサービス協会京都事業所分会で労使協議会を開催。夏季一時金の交渉。9月16日。

③建交労京都府本部女性部「第23回定期総会」が京都高齢者会館で開催。支部より17名が参加。10月10日。

3. 上部団体の諸行事への参加者調整

①建交労全国事業団・高齢者部会「第59回事業団・高齢者・介護ヘルパー運動交流集会」が福島県で開催。10月22日、支部大会後に5名の参加で準備。

②日本高齢期運動連絡会「第35回日本高齢者大会」に実行委員会から2日間でのべ20人の参加者の要請。当日の案内係などの要員派遣はなくなった。

③11月2日にハローワーク前アンケート活動と、建交労組織拡大の駅頭宣伝行動を計画。

○ハローワーク前アンケート活動は、6月の行動が不十分に終わったための再チャレンジ。

○同日に、組織拡大宣伝行動を近鉄十条駅前で予定。

4. 京都支部定期大会の開催準備

①議案説明のための職場会の開催報告。

○京都高齢者会館で2日間のべ4回、23人参加。ほか、宇治高齢者事業団事務所とシルバー人材センターの西浦公園作業詰所前で開催。

②大会代議員19名の選出状況の確認。

③大会議長・選挙管理・資格審査など大会役員の調整。議案説明の担当者の人選。

④前日の会場設営、当日の議事進行などの内容確認。

⑤依頼した祝電・メッセージの集約と、来賓の招請、大会宣言案の内容確認。

⑥2021年度会計収支決算と、2022年度予算案の原案説明と確認。

○次回執行委員会は、11月16日(水)午後2時より開催。

お知らせ

事業団で働くみんなのアンケート 回答・返信にご協力ください！

建交労では例年「事業団などで働くみんなの要求アンケート」を取り組んでいます。アンケートにお寄せいただいたご意見は、国や自治体への要請などの貴重な資料となります。ぜひ組合員の皆様のご協力をお願いします。

アンケート用紙と返信用封筒をお配りしています。返信用封筒は切手不要です。年内をめどに、アンケート用紙にご回答いただき、ご投函ください。

※ソーシャルサービス協会京都事業所分会の方には「介護職場に働くみんなの要求アンケート」を配布しています。



「仲間」の原稿を募集しています

本誌『仲間』は、組合の取り組みの方向や歴史をお伝えするだけでなく、普段、顔を合わせない組合員の間での、コミュニケーションの活性化につなげる情報誌でありたいと思っています。組合員の皆さんの積極的な投稿をお願いします。

- 《テーマ》
1. それぞれの職場の様子や仕事の内容
 2. おすすめの健康対策や、闘病の思い出
 3. 趣味や特技、愛読書、旅行や食事の話題、などなど

京都支部 定期大会を開催

10月22日 全議案と執行部を承認



▲開会挨拶の松永委員長

▼退任される会計監査原田さん



10月22日午前、京都高齢者会館4階ホールにて建交労京都支部の第26回定期大会が行われ、代議員19人、支部役員15人が参加しました。大会では活動報告と運動方針、会計報告と決算、次期役員がそれぞれ承認されました。

大会は午前9時半より中井副委員長の司会で、議長に上山代議員（ワークセンター）、資格審査委員に山田執行委員と霧島代議員（書記局）、選挙管理委員に小崎執行委員と山田代議員（京都事業

団）を選任して始まりました。松永委員長の挨拶の後、来賓の京都府本部の重村委員長、京都事業団の齊藤理事長から挨拶を受けました。上部団体・友誼団体より寄せられたメッセージの紹介の後、議事に入り、山内書記長から活動報告、松永委員長が運動方針、山川書記次長から決算と予算を提案、原田会計監査

から監査報告を行いしました。

議案の審議・討論では、4名から、職場の仕事内容の紹介や状況、介護制度の現状と問題点などの発言がありました。

山内書記長のまとめの発言に続いて議案の採決を挙手で行い、すべて満場一致で採択されました。

続けて新執行部の信任投票を行い、大会宣言の採択を行いました。

今回退任される会計監査の原田さん（ワークセンター前所長）が挨拶された後、木ノ下副委員長の閉会挨拶、団結ガンバローを三唱し、大会を終えました。



今回の支部定期大会の開催にあたって、9つの団体の12人の方より、文書で祝辞を寄せていただきました。その中から、建交労京都府本部・重村周治執行委員長よりいただきましたメッセージを紹介します。

コロナ感染拡大の第7波が到来し、過去最大規模の感染・死者数となっています。またもや医療機関・公衆衛生体制はひっ迫し、助かる命を守ることができていません。その一方で、ロシアの侵略戦争に乗じた9条改憲・大軍拡を強行する岸田自公政権に反対し、憲法を活かし働く権利、生きる権利を行使し、国民一人ひとりの命が守られる社会へと転換させるため、国民的規模の共同行動が広が

がっています。7月の参議院選挙では、野党共闘による統一候補を擁立が進まず、改憲勢力が3分の2以上を確保し、軍拡路線と国会発議を急速に進めようとしています。一方で故安倍元首相の国葬実施については、世論調査で国民の大半が反対を示しているにもかかわらず、強行実施をしました。さらに岸田首相を含む自民党国会議員の多くが、旧統一協会と癒着していることが明るみとなっ

ています。反社会的な集団を放置し、今もお霊感商法・多額の献金で被害者とその家族が苦しみを抱えている中で、政府が事態を放置することは許されません。

貴支部はこうした中、岸田政権と対峙し、高齢者・失業者の就労問題、介護労働者の労働条件改善、ホームレスの自立支援などを通年闘争とする闘いに心から敬意を表します。私たちがめざす「働くものの雇用・生活・権利を守り、日本の平和と民主主義を守る運動」とは共通の取り組みです。

私たちは「国民の命・暮らし・雇用と憲法を守る要求の旗を高く掲げ、共同を広げる運動をさらに発展させ、その要求実現と組織拡大・強化をつくりだす決意です。

貴支部の第26回定期大会が活発な議論のもと、みなさまの団結をはかる場となり運動が広がり、諸要求が実現することを祈念し、メッセージとします。

2022年度京都支部役員
選出されました第27期支部役員は次の通りです。

- 委員長 松永 雅明(現)
- 副委員長 木ノ下 貴之(現)
- 書記長 中井 正(現)
- 書記次長 山内 登(現)
- 執行委員 山川 真吾(現)
- 青木 弘毅(現)
- 洗 宣子(現)
- 岡山 昭人(現)
- 嘉村 茂(現)
- 北尾 孝次(現)
- 小崎 敏郎(現)
- 中村 親(現)
- 橋本 厚男(現)
- 松本 恵美子(現)
- 望月 美佐子(現)
- 山田 憲治(現)
- 監査 上山 宏(新)
- 山岡 春雄(現)

事業団運営や介護事業の改善を

第59回 事業団・高齢者・介護ヘルパー運動交流集会

10月22、23日、福島県郡山市で、建交労全国事業団・高齢者部会が主催する「第59回事業団・高齢者・介護ヘルパー運動交流集会」が行われ、京都支部から5名が参加しました。全国の仲間が集まり、日常の仕事や組合運動の経験交流を行いました。以下は参加者それぞれの報告です。

京都支部書記長 山内 登

交流集会は労働組合の組織統合前、旧全日自労の仲間たちの交流が目的で毎年行われていますが、コロナ感染の影響で3年ぶりの開催となり、支部から5名が参加し、うち3名は初参加です。

今回は京都支部の定期大会と重なり、昼からの出発で、夕食

交流会からの参加になりました。

夕食交流会では、参加団体の自己紹介や、地元のフラダンスも交流に花を添えました。自己紹介の中で、沖縄のデイサービスの方が、利用者さんの健康維持のため「カエルの夜回り」の歌でストレッチ運動を披露され、我が支部のMさんも壇上で独唱しました。

翌日の分科会は「事業団運営」に参加しましたが、参加者が多く、各地の取り組み報告が中心で、具体的な討論にはなりませんでしたが、しかし喫煙所での交流は弾みえました。次回参加できる機会があれば「組

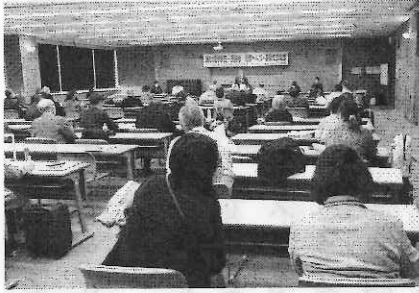
合活動と組織拡大」の分科会に参加したいと思い、帰路につきました。

京都高齢者福祉事業団 橋本厚男

郡山市に行くのは初めてで、宇治や長岡京ぐらいの都市を思い浮かべていたのですが、駅を降りてビックリ。広々とした駅前ビルも建ち並び、人口も大阪の衛星都市並でした。

22日は京都支部の大会があり、残念ながら1日目の分科会には出席できませんでしたが、2日目に、他の地域の現状を聞くことができました。

私は「組合活動と組織拡大」分科会に入りました。約20名で、司会者が「それぞれ一言お願いします」の言葉から始まりましたが、皆さん普段からしゃべり慣れた方々なのか、一言が長く、一巡した頃には、ほぼ時間が無い状況。各々同じような悩みや課題を抱えているようでした。事業団と組合のリーダーが同じ顔ぶれで、いわゆる組合対雇用主という交渉形態が取りづらいという話が



ありました。事業団が「仕事が必要
な方の雇用を守る」という主旨から
設立された団体で、雇う方も雇われ
る方も同じ方向を向いてることから
利益を追求する一般の会社と異なり、
モデルがないので、自分たちで模索
する必要がある、とのことでした。

また、若い人の入会が少なく後継
者を育てられず、若返りができない
し、財政的にも影響が出ている、と
の話もありました。給料が上がらず
組合費を払うのがきつく感じたり、
組合活動の成果が見えづらいいこと
も原因かも知れない、とのことでした。
最後に、配布された学習テキスト

『事業団では
「事業団では
たらく』を活
用して、事業
団や労働組合
のことを学ぶ
キツカケにし
てはどうか、
と締めくくら
れました。

ソーシャル京都事業所 松下 恵

23日の介護ヘルパー部門での話の
際に「デイサービス利用中にお買い
物」という話が、とても素敵だと感
じました。けれども、そのサービス
は提供しないように言われたとのこ
と。ご本人の出来ることを、出来る
状況があるにも関わらず、やらせな
い状況を作ってしまう。ストレンダ
スや自立支援と言いながら、介護保
険の制度上、どうして許されされな
いのかと思います。

大手商業施設と大手介護保険業者
が手を組んで、商業施設の中に養老
一貫施設ができれば良いな、などと
夢の膨らむ話ができ、とても楽し
かったです。参加させて頂きまして、
ありがとうございます。

ソーシャル京都事業所 高橋香代

介護ヘルパー分科会に参加しまし
た。島根、沖繩、宮城から各1名、
私たち京都から2名の計5名でした。
島根では、地区社協が中心となつ

て、公民館を通いの場として介護予
防教室に活用している。活動をして
いる公民館には、年150万円の予
算が付き、ボランティア育成をして
いるという、興味のある話を聞くこ
とができました。

初めて参加しましたが、厚生労働
省への質問・要望書も出ており、熱
く活発な活動を感じた交流会でした。

ワークセンター 栗田佳子

今回初めて交流集會に参加させて
いただきました。普段はなかなか他
の事業団等の方と交流することがな
いため、どのような話になるかと緊
張もしていましたが、それぞれ少
ずつ事業内容は違っても、抱えてい
る課題は共通することが多いという
ことがわかりました。

自分たちだけで抱えずに、普段か
ら意見や情報交換できる場があれば、
お互いに課題を解決していく力にな
り、励みにもなるなと感じました。
また参加したいと思います。

建交労京都府本部女性部第23回定期総会

建交労京都府本部女性部委員
京都高齢者福祉事業団 藤原美佐子



「守ろう9条！ 生かそう憲法！ なくそう貧困！ みんなで幸せになるためにたたかつて要求の前進を！」のスローガンをかけ、建交労京都府本部女性部第23回定期総会が10月10日に開催されました。今年もコロナ禍で時間を短縮し、食事もお楽しみの取り組みも省略しました。その代わりに、お土産を用意しました。

総会の前に会場で6月の『建交労フェスタin京都』が写真で紹介されました。総会では建交労京都府本部重村委員長

の来賓挨拶、坂田部長より21年度の活動が報告されました。メッセージが紹介の後、会計報告、22年度の議案の提案がされました。

各支部・職場から積極的な討論が行われ、実態や職場が抱えている問題・要求なども出されました。討論の後、議案採決が行われ、全員の拍手で全ての議案承認の後、新年度役員が提案・承認されました。

建交労京都府本部女性部には、私たち京都支部以外にも様々な支部が結集しています。現在も一人で要求実現のために強い意志を持ち頑張っておられる方もおられ、大会で発言された皆さんの頑張りや意気込みがよく感じられ、とても有意義な時間が持てました。

参加していただいた方から「久しぶりにみんなの顔が見れて楽しかったわ。また声かけてな」との言葉もいただき、女性部が毎回取り組んでいる、チョコレートの販売もたくさん方に協力していただきました。

今回の総会は、京都支部からは17名、全体では26名の参加がありました。

女性部には様々な職場の方、ひとり現場で日々頑張つ

ておられる方もいます。このような集まりのなかで話を聞くことにより、みなさんの頑張りぶりに勇気ももらえ、元気もです。また、こういった場を通じて、人と人のつながりが出来れば幸いです。

お休みに参加していただき有難うございました。これからも女性部活動にご理解いただき、またコロナの一日でも早い収束を願い、来年も一人でも多くの方に参加していただければ嬉しいです。



退職者・失業者の思いを集めて、緊急雇用対策を

ハローワーク前アンケート活動

11月2日朝、建交労中央が提起した「求職者・失業者要求アンケート調査」を、七条、伏見、宇治の3カ所のハローワーク前で行い、支部組合員・建交労京都府本部・京都総評から、のべ17名が参加しました。

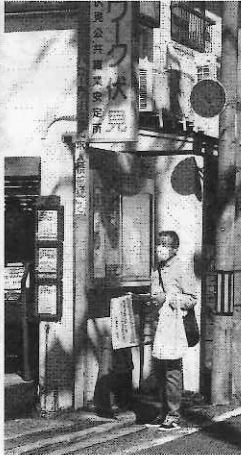
6月に続く取り組みで、前回はア

ンケート用紙配布数が少なかったので、今回は来所者が多い日を事前に調べて準備し、晴天にも恵まれて、前回の倍以上、受け取られました。



▲ハローワーク七条

▼ハローワーク伏見

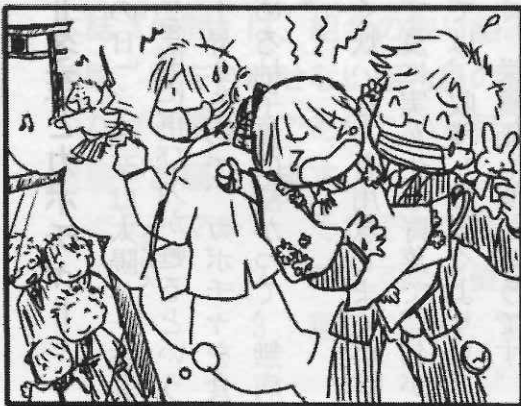


▲ハローワーク宇治

11月のまちがいさがし
てんやわんやの七五三

2つの絵で違いが7カ所あります。

(答えは12ページ)





京都の催事案内

イベント予定を拾ってみました。
主催者の都合や新型コロナウイルス対策
天候で、中止の場合があります。

- 11月21日(月) 写経のつどい／智積院(東山七条)
- 11月23日(水) お火焚き祭／市内各神社
- 11月25日(金) 筆供養／東福寺正覚庵(東山区本町)
- 11月26日(土) 農林水産フェスティバル／パルスプラザ
- 11月26日(土) 窯元もみじまつり陶器市／東福寺く泉涌寺
- 12月1日(木) 映画の日／映画館の料金割引
- 12月7日(水) 大根焚き／千本釈迦堂(今出川七本松)
- 12月8日(木) 針供養／法輪寺(西京区嵐山)
- 12月9日(金) 大根焚／了徳寺(右京区鳴滝)
- 12月13日(火) 大福梅授与／北野天満宮
- 12月14日(水) 京料理展示大会／みやこめっせ
- 12月15日(木) 山科義士まつり／毘沙門堂く大石神社
- 12月21日(水) 御身拭式・手づくり市／百万遍知恩寺
- 12月21日(水) 終い弘法／東寺
- 12月22日(木) 冬至、柚子湯／市内各銭湯
- 12月23日(金) かぼちゃ供養／矢田寺(寺町三条)
- 12月25日(日) クリスマス、終い天神／北野天満宮
- 12月31日(土) 大晦日、をけら詣り／八坂神社

私家版風物詩

Ⅱ冬至とカボチャⅡ

冬至の別名は「二陽来復の日」。冬至は太陽が一番弱まっていると考え、この日を境に再び力が甦るという意味合いがあつて、運氣も上昇するので、カボチャを食べべて栄養をつけ、身体を温める柚子湯に浸かつて、無病息災を願うとされています。

冬至は、カボチャを甘辛く炊いたんを用意しますが、カボチャは春先に種まきして夏に実が生る野菜で、旬が違わへん？ 聞いたところでは、収穫して直ぐよりも、数カ月追熟した方が美味しく、栄養価も高いそうです。

寺町通三条上ルの矢田寺は、冬至の翌日の「かぼちゃ供養」で煮物が振舞われます。しかし狭い境内に朝から人だかりが道まで溢れ、寒いのに並んでまで……と思ひ、食べたことがない。湯気の立っている大鍋を眺めるだけ。



▲寺町商店街内の矢田寺

▼大きな、なでカボチャ



行楽

三重県名張市

赤目四十八滝をハイキング

建交労京都支部OB 中村 崇

今回は、地域の人たちと久しぶりのハイキングです。行先は三重県名張の「赤目四十八滝」。京都駅から近鉄電車で「赤目口駅」、バスに乗り換えて「赤目滝」へ。京都駅から1時間30分で到着。

渓谷入口で入山料（500円）を払って、ハイキングコースへ。一番奥の岩窟滝まで片道3・3キ。標高差は渓谷入口から130メートル程です。

溪流沿いに階段などのアツプダウンを歩きます。でも、川の岩が薄日を受け、苔が淡い緑色に輝き、マイナスイオンを浴びて自然美を満喫する最高の気分でした。中間の「百畳岩」で昼食休憩。コーヒーを飲んでいる時の気分は最高で、ハイキングはいいなと思えました。昼食の後、それぞれの滝の流れや、凄さに驚きながら

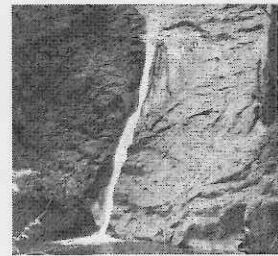


▶不動滝

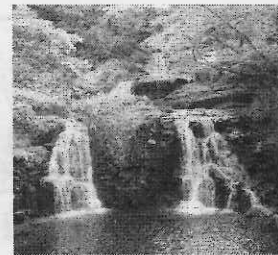


▶千手滝

▶布曳滝



▶荷担滝



▶琵琶滝



一番奥にある岩窟滝まで歩き、小休憩の後、来たコースを戻りました。逆コースなので見る滝の角度も違い、あれこれ話しながら渓谷入口へ。休憩を入れて3時間30分程で到着。モミジの木が多かったので、秋の紅葉は綺麗だろうと思いつながら帰路につきました。

滝には名前が付けられ、主なくつかを紹介します。

不動滝ふどうだき 高さ15メートル、滝壺の深さ10メートルで、まずまずの大きさ。不動明王にちなんで名づけられたそうです。

千手滝せんじゆだき 高さ15メートル。岩を伝って千手のように落水する美しさから名付けられたとか。撮影スポットのようで多くのカメラマンが三脚を立てて撮影していました。

布曳滝ぬのひきだき 高さ30メートルから一条の布をかけたように落ちる。滝壺も深く、注がれるような落水が澄ましていました。

荷担滝にないだき 高さ8メートルの滝で、岩を挟んで二つに分かれて流れ落ちる滝で、渓谷随一の景観と云われています。

琵琶滝びわだき 高さ15メートルの滝で、楽器の琵琶に似ているところから名づけられました。

編後集記

支部大会を無事に終え、ようやく落ち着きました。役員・代議員の皆さん、ご協力大変ありがとうございました。大会報告と、事業団・介護ヘルパー交流集会の報告で、今号は久しぶりに12ページ建としました。

政府のインフレ対策の本気度？

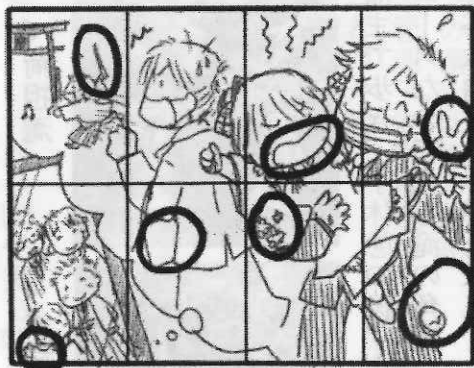
政府は今春以降、インフレ対策として価格抑制政策と低所得世帯支援を実施してきた。▼価格抑制として燃料油価格激変緩和措置（燃料油補助金）があり、ガソリン価格の高騰を抑えるために石油元売会社に補助金を出している。最近この期限延長が決まり、補助金総額4兆円になる見込み。このやり方、電気・ガス料金へ広げるらしい。▼ガソリン代には、ガソリン税が1リットル当たり53円80銭、さらに石油石炭税、地球温暖化対策税、消費税を加えると合計約60円に



表紙 “穴太寺の近くの秋”

彼岸花と稲穂を垂れるお米のある風景。「実るほど頭を下がる稲穂かな」なのでしょいか。

上林常哲さんのブログより



まちがいさがしのこたえ

なり、実に店頭価格の4割以上を税金が占めている。▼これらを放置し、石油会社に税金を渡して値上げ額の縮小をお願いする。方法がおかしいと思いませんか？▼政府税制調査会は10月26日、少子高齢化により増え続ける社会保障費の財源確保に向けて、消費税増税を遅滞なく行えるようスタンバイが必要、との結論とか。▼いま消費税を引き上げて庶民生活や景気がどうなるか想像できない？消費税で社会保障が良くなったか？こういう考えの人らに政策立案をさせてよいのか、と切に思う。（や）